

虫調査会

2022年6月12日(日)

例年一般の参加者を募集して『虫観察会』を実施していますが、今年新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員による調査のみ行いました。

講師 日本甲虫学会会員 宮内 博至氏
(ジュンサイを残そう市民の会会員)

確認された主な昆虫

調査場所：じゅん菜池緑地 自然環境ゾーン 管理地内
2022年6月12日13時～13時45分 参加者20名

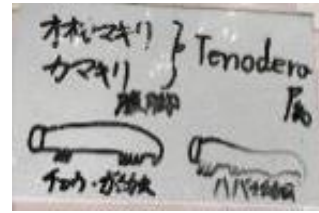
1. ツマキヘリカメムシ属
(ツマキヘリカメムシか
オオツマキヘリカメムシ)
2. アジアイトトンボ
3. キイロクビナガハムシ
4. カノコガ
5. テントウムシ(幼虫)
6. ヒメカメノコテントウ
7. クロスジギンヤンマ
8. コシアキトンボ
9. ショウジョウトンボ
10. トホシテントウ
11. カマキリ類 (Tenodera属) の幼虫
12. ハナアブの仲間 など



コガネグモ

●昆虫以外
コガネグモ、アシプトヒメグモ、ヤマシロオニグモなどのクモ

調査開始時後すぐに天気が崩れ始め、昆虫の確認と解説をして頂き天候の回復を待ちましたが、雨・雷の接近のため、やむを得ず短時間で調査終了となってしまいました。



ホワイトボードを使って解説して頂きました。



調査会の様子



三角紙
チョウやトンボ等を採集したときに保管する用具。
(※中のサカハチチョウは茨城県北部で採集したもの。)



ツマキヘリカメムシ属



カマキリ類 (Tenodera属) の幼虫



クロスジギンヤンマ